

東栄町の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (23年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 22年度の人件費率
23年度	人 3,828	千円 2,917,270	千円 208,097	千円 581,201	% 19.9	% 17.0

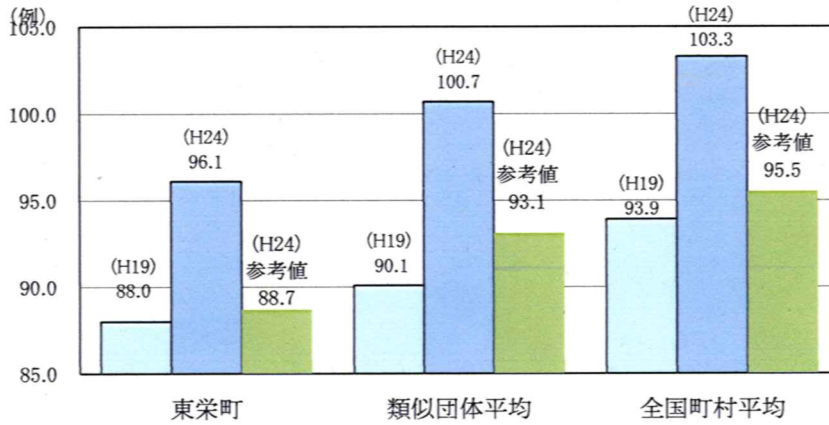
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与			一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費 千円	
		給料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 計 B 千円			
23年度	人 77	千円 249,017	千円 13,079	千円 86,443	千円 348,539	千円 4,526	千円 5,361

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、23年4月1日現在の人数である。

(3) 特記事項

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数である。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
3 「参考値」とは、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定特例法による措置がないとした場合の値である。

2 一般行政職給料表の状況（平成24年4月1日現在）

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
1号給の給料月額	135,600	185,800	222,900	261,900	289,200	320,600
最高号給の給料月額	243,700	307,800	354,700	388,300	400,600	422,600

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成24年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
東栄町	45.5 歳	309,300 円	336,440 円	330,277 円
愛知県	42.8 歳	336,759 円	435,676 円	385,422 円
国	42.8 歳	304,944(329,917) 円	—	372,906(401,789) 円
類似団体	42.7 歳	305,195 円	346,802 円	332,520 円

②技能労務職

区分	公務員				
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国ベース)
東栄町	55.8 歳	9 人	220,500 円	224,695 円	221,688 円
うち 学校給食員	55.7 歳	5 人	219,680 円	224,724 円	221,880 円
うち その他職員	55.8 歳	4 人	221,450 円	224,660 円	221,450 円
愛知県	52.3 歳	431 人	339,689 円	392,516 円	375,705 円
国	49.7 歳	3,479 人	270,465(285,030) 円	—	307,506(323,181) 円
類似団体	49.7 歳	3 人	265,145 円	291,195 円	280,355 円

区分	民間			A/B	参考		
	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)		年収ベース(試算値)の比較		
					公務員(C)	民間(D)	C/D
東栄町	—	—	—	—	—	—	
うち 学校給食員	調理士	40.4 歳	270,000 円	0.83	3,554,085	3,657,900	0.97
愛知県	—	—	—	—	—	—	
国	—	—	—	—	—	—	
類似団体	—	—	—	—	—	—	

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。（平成21年から23年の3ヵ年平均）
 ※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。
 ※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値である。

- (注) 1 「平均給料月額」とは、24年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。
 また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。
 3 国家公務員欄における「平均給料月額」及び「平均給与月額(国ベース)」の括弧書きは、給与改定特例法による措置がないとした場合の値(減額前)である。

(2) 職員の初任給の状況（24年4月1日現在）

区分	東栄町	愛知県	国	
一般行政職	大学卒	172,200 円	176,734 円	163,987(172,200) 円
	高校卒	140,100 円	142,881 円	133,418(140,100) 円
技能労務職	高校卒	133,100 円	131,531 円	—
	中学卒	125,400 円	120,183 円	—
看護師	短大3卒	188,900 円	—	—
	短大2卒	180,500 円	—	—
保健師	大学卒	201,100 円	—	—
	短大3卒	188,900 円	—	—

(注) 国家公務員欄における括弧書きは、給与改定特例法による措置がないとした場合の値(減額前)である。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（24年4月1日現在）

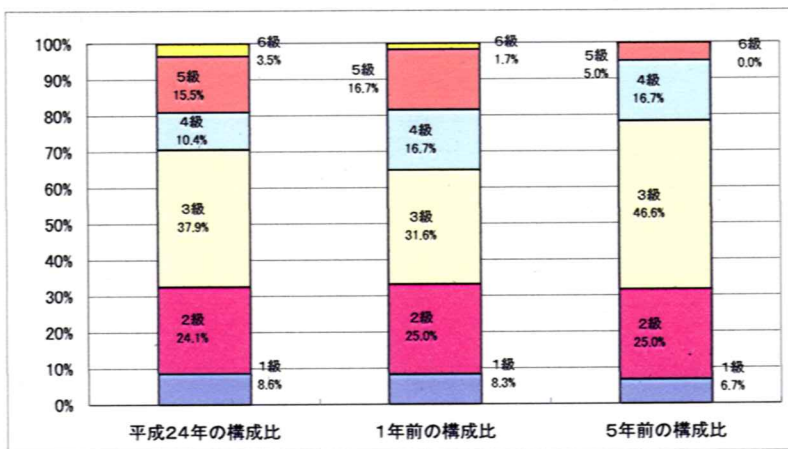
区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	232,800 円	— 円	— 円
	高校卒	— 円	— 円	293,700 円
技能労務職	高校卒	— 円	— 円	205,900 円
	中学卒	— 円	— 円	— 円

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（24年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	高度の知識又は経験を必要とする課長	2人	3.5%
5級	課長の職務	9人	15.5%
4級	課長補佐の職務	6人	10.4%
3級	係長、主任の職務	22人	37.9%
2級	高度の知識又は経験を必要とする業務を行う係員の職務	14人	24.1%
1級	係員の職務	5人	8.6%

- (注) 1 東栄町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

1 勤務評定の実施状況

地方公務員法第40条に基づき、毎年度4月1日から1月25日までを評定期間として勤務成績の評定を実施している。

2 昇給への勤務成績の反映状況

上記勤務評定を人事異動には反映しているが、人事評価制度が整備されていないため、昇給への反映は行っていない。
 東栄町職員の給与に関する条例において5級以上の職員においては1号給の昇給抑制を行っている。

5 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

東 栄 町		愛 知 県		国	
1人当たり平均支給額(23年度)		1人当たり平均支給額(23年度)		—	
1,122 千円		1,642 千円			
(23年度支給割合)		(23年度支給割合)		(23年度支給割合)	
期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分	2.60 月分	1.35 月分
(1.45)月分	(0.65)月分	(1.45)月分	(0.65)月分	(1.45)月分	(0.65)月分
(加算措置の状況)		(加算措置の状況)		(加算措置の状況)	
職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置		職制上の段階、職務の級等による加算措置	
・役職加算 5~15%		・役職加算 3~20%		・役職加算 5~20%	
		・管理職加算 4~25%		・管理職加算 10~25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】 勤勉手当への勤務実績の反映状況 (一般行政職)

東栄町職員の給与に関する条例において6月1日及び12月1日にそれぞれ在職する職員に対し、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の勤務成績に応じて支給することとされているが、懲戒処分者等を除き、国の「良好」の成績率を運用している。

(2) 退職手当 (24年4月1日現在)

東 栄 町			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50 月分	30.55 月分	勤続20年	23.50 月分	30.55 月分
勤続25年	33.50 月分	41.34 月分	勤続25年	33.50 月分	41.34 月分
勤続35年	47.50 月分	59.28 月分	勤続35年	47.50 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	
(退職時特別昇給	なし)				
1人当たり平均支給額	12,825 千円	17,930 千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、23年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

(24年4月1日現在)

支給実績(23年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)		— 千円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
—	— %	— 人	— %

(注) 在勤地の支給割合に応じて支給している。平成20年度は、豊橋市在勤職員1名に支給した。

(4) 特殊勤務手当 (24年4月1日現在)

支給実績(23年度決算)	590 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	590,000 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(23年度)	1.2 %		
手当の種類(手当数)	2手当		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
火葬手当	火葬業務に従事した職員	火葬業務	1件当たり 5,000円
霊きゅう車運転手当	霊きゅう車を運転した職員	霊きゅう車運転業務	1件当たり 2,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(23年度決算)	2,165 千円
職員1人当たり平均支給年額(23年度決算)	28 千円
支給実績(22年度決算)	1,491 千円
職員1人当たり平均支給年額(22年度決算)	19 千円

(6) その他の手当 (24年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (23年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (23年度決算)
扶養手当	配偶者…13,000円 配偶者以外…1人につき 6,500円 (配偶者が無い場合は 1人のみ 11,000円) (16歳から22歳までの子 1人につき5,000円加算)	同	-	千円 6,604	円 235,857
住居手当	自宅(取得から5年未満) …2,500円 家賃23,000円以下 …(家賃-12,000円) 家賃23,000円を超え 55,000円以下 …(家賃-23,000円)×1/2 +11,000円 家賃55,000円以上 …27,000円	同	-	千円 2,188	円 243,111
通勤手当	通勤距離が片道2km以上 である職員に支給	異	単価及び 使用距離 区分	千円 3,443	円 111,064
管理職手当	管理又は監督の地位に ある職員に支給	同	-	千円 2,871	円 261,000

6 特別職の報酬等の状況 (24年4月1日現在)

給料	区分	給料	月額等	
			(参考)類似団体における最高/最低額	
料	市区町村	440,000 円	840,000 円	230,400 円
	副町長	(550,000 円) 545,000 円	705,000 円	391,800 円
報 酬	議長	280,000 円	395,000 円	140,000 円
	副議長	(200,000 円) 200,000 円	310,000 円	115,000 円
	議員	(180,000 円) 180,000 円	290,000 円	100,000 円
期 末 手 当	市区町村 副町長	(23年度支給割合) 2.60	月分	
	議長 副議長 議員	(23年度支給割合) 2.60	月分	
退 職 手 当	市区町村	(算定方式) 440,000×在職月数×0.45	(1期の手当額) 9,504,000 円	(支給時期) 任期ごとに支給
	副町長	545,000×在職月数×0.27	7,063,200 円	任期ごとに支給
	備考			

(注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

7 職員数の状況

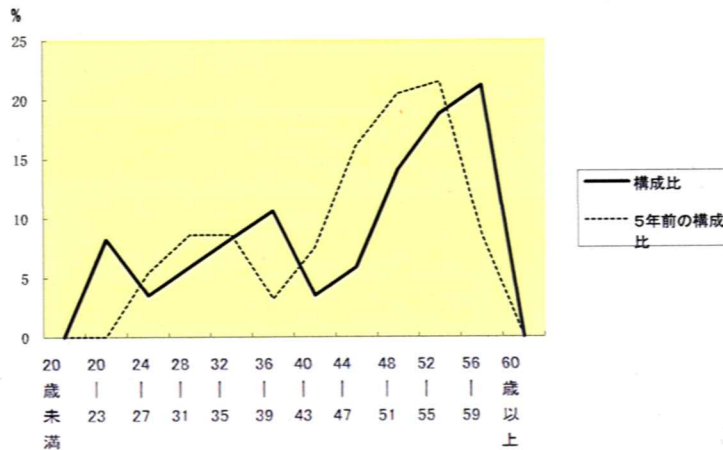
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由	
	平成23年	平成24年			
一般行政部門	議会	2	2	0	徴収等支援業務見直しによる減 税務業務体制充実に伴い増
	総務	19	17	△2	
	税務	4	5	1	
	労働			0	
	農林水産	6	6	0	
普通会計部門	商工	2	2	0	<参考> 人口1万人当たり職員数 159.35 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 183.21 人)
	土木	5	5	0	
	民生	19	19	0	
	衛生	5	5	0	
	計	62	61	△1	
教育部門	15	14	△1	社会教育施設業務縮小に伴う清掃職員の減	
消防部門					
小計	77	75	△2	<参考> 人口1万人当たり職員数 195.92 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 221.24 人)	
公営企業等部門	病院	0	0	0	簡易水道業務見直しによる増
	水道	4	3	△1	
	交通			0	
	下水道	3	2	△1	
	その他	5	6	1	
小計	12	11	△1	下水道維持管理業務見直しによる減 介護認定調査等業務見直しによる増	
合計	89	86	△3	<参考> 人口1万人当たり職員数 224.66 人	
	[101]	[101]	[0]		

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。(ただし、教育長を含む。)
2 []内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (24年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳23歳	24歳27歳	28歳31歳	32歳35歳	36歳39歳	40歳43歳	44歳47歳	48歳51歳	52歳55歳	56歳59歳	60歳以上	計
職員数	0人	7人	3人	5人	7人	9人	3人	5人	12人	16人	18人	0人	85人

(3) 職員数の推移

部門別	19年	20年	21年	22年	23年	24年	過去5年間の増減数(率)
一般行政職	66	62	62	62	62	61	-5 (-7.6%)
教育	17	17	16	15	15	14	-3 (-17.6%)
消防							0 ()
普通会計計	83	79	78	77	77	75	-8 (-9.6%)
公営企業会計計	11	11	11	11	12	11	0 (0.0%)
総合計	94	90	89	88	89	86	-8 (-8.5%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数